

2019.05.23 (木) 14:30～16:30

「せんだいメディアテーク」1階 <オープンスクエア>

CDEJ 療養指導セミナー

目的 どなたでも参加できます

糖尿病療養診療における
多職種協働のチーム医療は
いかにあるべきか
それぞれの職種の立場から
現状をみつめ、協働と連携
について話し合う
情報交換の中から、チーム
の発展を考える

座長 税所 芳史 (慶應義塾大学医学部)
小林 庸子 (杏林大学医学部付属病院)

交流集会

OPINION EXCHANGE MEETING

参加資格

医師、看護師、管理栄養士
薬剤師、臨床検査技師、
理学療法士、他

CDEJ 資格の有無は問いま
せん

テーマ: 妊娠糖尿病から 女性の健やかな一生を考える

妊娠中の高血糖は胎児および母体にさまざまな影響を及ぼし、周産期合併症のリスクを高めます。さらに妊娠糖尿病と診断された女性は、その後の 2 型糖尿病の発症リスクが増加することも報告されています。したがって、妊娠糖尿病と診断された女性への妊娠中及び出産後の療養指導は、周産期合併症の抑制だけでなく、将来の 2 型糖尿病の発症を予防することにつながり、健やかな一生を支援する上で、非常に重要です。

このセミナーは、多職種がそれぞれのノウハウを持ち寄り、支援の手立てやチーム医療について共に考える交流集会です。

参加希望者(定員 100 人)は =職種のかたよりを防ぐため=

Step 1 「日本糖尿病療養指導士認定機構」の **Web** サイトより
事前参加登録を行ってください。

余席あれば当日、会場入り口にてお申し出順に、
ご案内いたします。
ただし定員数に達し次第、締切らせていただきます。

Step 2 各テーブルには **CDEJ** ファシリテータ 1 人参加します。

Step 3 ミニレクチャー講師
⇒ 杏林大学医学部・近藤琢磨 医師

Step 4 討議の後、テーブルごとに話し合われた内容を発表し、
意見を共有します。